

狭山が発祥の地

童句

初風呂や 父の大きな背せな中 流す 野辺 千代
 祖母の顔 しわのびている 初鏡 大沢 久美
 受験生 願いは絵馬に 書きさかれず 本告 愛子
 お飾りの 稲穂くわえて 雀立つ 辻 ひさ子
 声変り ためらいながら お年玉 計良 緑
 すころくを たためば雪の 夜なりけり 土家 由岐雄

※童句は、土家由岐雄氏が創始し全国に広がりました。大人が童心に戻って子どもの生活や感情を詠う俳句のことです。子どもにもよく分かり、大人も詩情を感じる格調高いものです。わが子や孫がどうしたという句は童句ではありませんのでお間違えのないようお願いいたします



池原 昭治の

さやまの歌本



小正月のころ

一月一日から七日までを松のうちといひます。
 「大正月」ともいって三が日は、男の人がすべてをとりしきったそうです。七日には門松をとり「七草がゆ」(セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロ)を食べます。十一日が「蔵ひらき」で福神さまにお供えをした鏡もちを食べます。

そして、十四日から十六日までを「小正月」といい「女正月」(正月の行事がいそがしかった女の人がゆつくり休める日)ともいひます。昔は狭山あたりは養蚕がさかんでした。この日は、まゆ玉かざりをします。コナラの木(山から盗ってきた木は、縁起がいいそうです)を石臼にさして、米のダンゴでつくったまゆ玉を枝にくっつけます。これは、その年の豊作を願う行事だそうです。このころ、「どんど焼き」といって、お正月につかつた注連飾りや門松、書初めなどをまとめて焼きつくします。その火で、もちやダンゴを焼いて食べると一年間は病気にかからないといひます。又、灰が高く舞いあがると書道の腕もあがるそうです。

AET CORNER



Paul Fahidi (A.E.T)

Recently many English words have entered the Japanese language. However, the flow is not one-way because many words enter English from other languages. People who speak English do not think about where the words came from because there is no equivalent to katakana. For example, the phrase "so long" comes from British soldiers in Malaysia. They heard people say to them "saa laang" when saying goodbye. There are thousands of more examples.

Plenty of Japanese words have been adopted by English, too. Just look under "K" in any dictionary and you can find kamikaze, karaoke, karate, kendo and kimono. If you ask for a "satsuma" in a store in Britain, the shopkeeper will give you a juicy, round, orange-coloured fruit.

Contact and communication between different peoples creates this two-way flow of words. Lots of English words are entering Japanese but lots of foreign words are always entering English. Although sometimes there can be some strange combinations like "choberiba!"

So long.

この広報紙はリサイクル推進のため古紙配合率80%の再生紙を使用しています

お・茶・香・る・ま・ち



[狭山市広報]

VOL.510

◆発行日/平成10年1月10日(毎月10・25日発行)

◆編集・発行/狭山市企画財政部秘書広報課

〒350-13 埼玉県狭山市入間川1-23-5

TEL.0429-53-1111(内線386)

FAX.0429-54-6262(行政資料室)

テレホンガイドさやま ☎0120-460-380